

木質耐震シェルター70K

施工に関する Q&A

「木質耐震シェルター70K」の設置をご検討いただきありがとうございます。
本資料は、「木質耐震シェルター70K」の施工にあたり、よくある質問をまとめたものとなります。

Q. 現地調査はどのように行っていますか。

A. 原則、当法人での現地調査は行っておりません。
室寸法、部材の搬入可否など、ご確認をお願いいたします。

Q. 搬入車両の大きさはどの程度ですか。

A. 2t 平ボディ、または 4t ユニック車となります。
事前に運搬経路、荷下ろしスペースのご確認をお願いいたします。

Q. 施工に何人必要ですか。

A. 建て方時は、最低 4 人以上は必要です。

Q. 「木質耐震シェルター70K」の重量を教えてください。

A. 参考重量は、以下の通りです。
4.5 畳タイプ : 約 1.0t
6 畳タイプ : 約 1.16t
8 畳タイプ : 約 1.25t
※1 部材あたりの最大重量は 70kg 程度です。

Q. 金物は木材に取り付けてありますか。

A. 金物の取り付けは、現場でのご対応となります。

Q. 耐震シェルターの組み立てには、どのような工具が必要ですか。

A. 耐震シェルターは、ボルト・ナットの締付けと、ドリフトピンの打ち込みで組み立てられています。
ボルト締付け用にメガネレンチ等 (M16 用)、ドリフトピン打ち込み用に石頭ハンマーが必要です。
また、梁の施工性から、さす又、潤滑スプレーのご使用をお勧めいたします。
※詳細は、取扱説明書に記載していますので、ご確認ください。

Q. 柱・梁に穴を空けることはできますか。

A. 接合部以外の場所で、配線穴 10mm 程度までは穴あけ可能です。
エアコンの配管等、孔径が 10mm を超える場合、シェルター本体を避けて配管をお願いいたします。

Q. 土間コンクリートは必要ですか。

- A. 防湿性と施工性（水平面を出すため）から、100mm程度を推奨しています。
鉄筋・メッシュ筋の採用等は、地面の状況等を踏まえて施工店様のご判断となります。
（駐車場の土間に近いとお考え下さい）

Q. 施工時間の目安を教えてください。

一般的な工程としては、以下のように施工いただいております。

- ・床解体・土間コン敷設：1日
- ・耐震シェルター設置：1日
- ・床張替え・補修仕上げ：1日 計3日

※現場の状況、施工範囲、施工内容によっても前後します。

Q. 土台の欠き込みは可能ですか。

- A. 構造躯体へ欠き込みは、原則禁止とします。

Q. 柱の移動は可能ですか。

- A. コーナー部分の出入口を考慮して、柱を1箇所・1モジュール（910mm）までは移動可能です。
柱位置の変更を希望される場合は、間取り図にご希望の開口位置を記載してご相談ください。

Q. 梁間からの物の落下防止として、梁上部に合板等を設置することはできますか。

- A. 12mm程度の合板の重量であれば、梁上に乗せることが可能です。

Q. 防蟻処理は必要ですか。

- A. 土間コンクリート上に設置する場合は、通気パッキンの使用や、防蟻処理を推奨します。

Q. 幅方向の20mmのクリアランス部分について、床の受け材をシェルター本体に留めつけ可能ですか。

- A. 床を張るために、受け材や埋木等を本体に留めつけることは問題ありません。

Q. シェルター本体の隅部分120mm角の隙間はどのように埋めればよいですか。

- A. 規定は設けておらず、現場にてご対応いただいております。
（120mm×120mmの角材を用いてご対応いただく等）

【商品企画・販売元】

一般社団法人 耐震住宅100%実行委員会

〒100-0014

東京都千代田区永田町 2-13-5 赤坂エイトワンビル 7F

Tel : 03-6897-6789